

## beyond2020プログラム 認証事業一覧 (平成29年4月14日)

事業名	団体名	期間	場所	概要
ノーマライゼーション バンド【VIVIMOS】に よるライブツアー	特定非営利活 動法人らいふ ステージ	2017/4/2～ 2018/3/31	佐賀県内	Vivimosは知的障がい・精神障がい・身体障がいの方々と職員によるロックバンドです。平成29年4月2日を皮切りに1ヶ月に1回ずつ佐賀県内を周りライブ活動を行う予定としており、平成29年4月2日には和太鼓の力強い音色を伝える佐賀県小城市の和太鼓グループ小城太鼓とのジョイントライブを開催。以降も訪れた地域の伝承芸能等とコラボレーションしていき日本文化の素晴らしさを伝えていきます。また、【障がいがあるうとなかろうと、同じ舞台に立っているのは同じ人。一緒に一所懸命に楽しむ】をモットーとして、訪れた地域の方々と、障がいとは、人とは、共に生きる社会作りとは、考えるきっかけ作りを行います。
第3回ぎふ清流文化プ ラザ民謡まつり	岐阜県	2017/5/21	岐阜県 岐阜市	「民謡」とはその土地で古くから世代を超え歌い継がれてきた伝統芸能であり、作業唄や祭り唄など、土地に根付いた生活の場面から生まれてきたものである。岐阜県ではこの民謡を2020年以降も伝承すべき“レガシー”と捉え、その魅力の再認識、次世代への継承を目的として、県有施設「ぎふ清流文化プラザ」において、民謡の公演を開催する。開催にあたり、通常のホール席に加え、車椅子スペースを確保することで、障がい者の方、高齢者の方でも気軽に鑑賞できるよう配慮を行う。
春のめざめ	公益財団法人 神奈川芸術文 化財団	2017/5/5～ 2017/5/23	神奈川県 横浜市	思春期の少年・少女たちの性の目覚め、生きることの葛藤、大人や社会からの抑圧という、普遍的なテーマに19世紀後半に挑戦、そのセンセーショナルな内容に上演禁止処分までになった、ヴェデキントの問題作を、今を生きる注目の若手俳優により、原作版のストレート・プレイとして現代に蘇らせる試み。音楽にはDRAGONASHでおなじみの降谷建志氏を迎え、新たな表現の地平を開く発信性の高い演劇上演となる。車いす専用スペースの確保ならびに、盲導犬、聴導犬、介助犬の同伴対応も含め障がいをもつ方の鑑賞にさまざまな劇場設備で対応すると同時に、専門的なスタッフを配置。外国人鑑賞者向けに英語等の作品パンフレットを配布する予定。
字幕表示&音声ガイド による鑑賞サポートあ り！柏市民文化会館バ リアフリー企画 「手話落語&ノーボー ダー映画上映会」	柏市民文化会 館指定管理者 柏市民文化推 進パートナーズ	2017/6/2	千葉県 柏市	視覚障害のある方には同時上映の音声ガイドを、聴覚障害の方には手話による同時通訳や字幕表示を。障害のある方もない方も、若い方も高齢の方も、一緒に楽しめる劇場体験イベント「手話落語&ノーボーダー映画上映会」。落語と映画の両方をお楽しみいただけます。また、ホールロビーではワンコインマッサージや福祉団体が手掛けた天然酵母パンや手作り加工品の販売、視覚・聴覚・言語障害の方のための、日常生活用具の展示会も同時開催いたします。ロビーでゆっくり過ごしていただき、落語と映画をお楽しみください。

事業名	団体名	期間	場所	概要
札幌演劇シーズン	札幌演劇シーズン実行委員会	2017/7/22～ 2018/2/22	北海道 札幌市	<p>札幌で生まれた優れた演劇作品の長期公演を行う「札幌演劇シーズン」を夏冬それぞれ1か月間開催し、演劇振興を図るとともに、札幌の新たな街の魅力としての活用を図る（一部外国語字幕公演を実施）。</p> <p>●札幌演劇シーズン2017-夏（平成29年7月22日～平成29年8月23日、5作品） 出演予定団体：yhs、パインソー、ミュージカルユニットもえぎ色、イレブン☆ナイン、intro</p> <p>●札幌演劇シーズン2018-冬（平成30年1月20日～平成30年2月22日、5作品） 出演予定団体：イレブン☆ナイン、青年団リンクホエイ、円山ドジャース、弦巻楽団、コンカリプロデュース</p>
琵琶湖周航の歌100周年記念式典	滋賀県	2017/6/24	滋賀県 高島市	<p>湖上から見た県内各地の情景が歌いこまれた湖国を象徴する名歌「琵琶湖周航の歌」が誕生100周年を迎えるにあたり、記念事業を行う。本式典を通じて、「琵琶湖周航の歌」の魅力および琵琶湖とともに育まれてきた湖国の風土、歴史、文化の魅力を再発見するとともに、未来を担う子どもたちへ、その魅力を継承することを目指す。事業の実施にあたっては手話通訳や要約筆記を手配予定。</p>
国際陶磁器フェスティバル美濃'17	岐阜県	2017/9/15～ 2017/10/22	岐阜県 多治見市	<p>国際陶磁器フェスティバル美濃は、陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流を通じた、更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目的として、「土と炎の国際交流」をテーマに1986年以降、3年に1度開催されるトリエンナーレで今回で第11回目の開催となる。2020年以降も継続して開催するレガシーと捉え、関係者が一丸となり取り組んでいる。</p> <p>世界各国から出展される国際陶磁器コンペティションの入賞・入選作品の展示や、地元陶磁器メーカーの新作見本市、障害者が制作した作品の展示など多治見市、瑞浪市、土岐市の美濃陶産地に密着した事業を実施する。英語併記の「公式ガイドブック」を制作し、国内外からの来場者に配付する。</p>
台東区文化ガイドブック 文化探訪（HP運営事業）	台東区	2017/4/1～ 2018/3/31	WEBサイト	<p>「歴史と文化のまち」台東区は、上野、浅草をはじめとした多くの文化資源が集積しています。WEBサイト『文化探訪』は、台東区が多様な文化の魅力と都市としての魅力を、芸術、歴史、デザイン、建築などの様々な視点から、多言語（日英中韓）で国内外へ広く発信しています。</p> <p>台東区の名所を紹介する記事を中心に、インタビューページ、パノラマ画像等を掲載することで、歴史ある文化の魅力を多角的に深く理解していただけます。</p> <p>『文化探訪』は、デジタルアーカイブによる文化継承を目的として掲載内容の充実を図りながら、台東区と早稲田大学メディアデザイン研究所の共同研究プロジェクトとして制作、運営をしています。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会パラオ共和国選手団事前キャンプ実施に関する基本合意書締結式	東京オリパラ推進協議会 (宮城県蔵王町・茨城県常陸大宮市)	2017/4/21	全国町村会館 (永田町)	宮城県蔵王町と茨城県常陸大宮市では、パラオ共和国を相手にホストタウンとして承認を受け、「東京オリパラ推進協議会」を設立し、事前合宿受け入れなどの基本合意書締結に向け、種々連携し事業推進をおこなっております。この度、パラオ共和国オリンピック担当大臣及び同国オリンピック委員会役員をお招きし、一市一町連携による取り組みをいち早く全国に発信し、2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運の醸成の一助となるよう、基本合意書の締結式を開催する運びとなりました。締結式は相手国の言語を交え同時通訳で進行し、リアルタイムでの共通理解を図るとともに、終了後に開催する祝賀会では、女性アカベラユニット（XUXU／しゅしゅ）による、パラオ共和国の歌や、日本童謡などを交えたヴォイス・パフォーマンスを披露していただき、お互いの国民性の理解を深めながら、今後の様々なフィールドでの更なる国際交流の促進となるよう実施します。